

大阪・関西万博「WORLD YOSAKOI DAY」へ

高知市議会議員
(自由民主党・中道の会)

藤川 ゆうすけ

34歳
2児の父

若さと情熱で市政へ挑戦!!
これからの高知への責任

市政報告 Vol.10

編集/発行: 藤川裕介後援会
発行年月: 2025年10月

【ご挨拶】第509回定例会(R7.9月議会)を振り返って

第509回定例会(R7.9月議会)が9月9日～30日の22日間開催されました。今定例会では、令和7年度補正予算、そして、令和6年度各決算の認定議案をはじめ69件の議案が上程され、全会一致又は賛成多数で可決・認定しました。補正予算では、本市でも大きな課題となっている不登校児童生徒への対策として、「学びの多様化学校」が潮江市民図書館4階に高知市立潮江中学校分教室として設置されることが決まりました。隣接する教育研究所との連携はもちろん、本事業に大いに期待しています。

第509回定例会(R7.9月議会)補正予算等の議案はこちら



「事務事業の見直し」をはじめとする本市の行財政改革について

行財政改革の一環として進められる「事務事業の見直し」が今議会で示されました。来年度当初予算編成に不足が想定される18億円をまずはどう確保していくのか大きな課題です。この18億円は見込み額かつ短期的に最低限必要なお金です。今後は、今年度財政調整基金から繰り入れている36億円の歳入確保が毎年度最低必要になってきます。これからの高知市は、市民の皆さまの大切な税金を何に使わせていただくのかについて改めて考え、何を削るのかではなく(短期的には削るしかない)、何を残すかということの中長期的なビジョンに加え具体的な計画を持つておく必要があると考えています。

高知市における事務事業の見直しについて



活動報告 (議会活動、地域活動、党活動、視察・研修)



アリーナ整備に向けた検討会に参加
「第1回新県民体育館整備等基本計画検討会」



全国若手議員の会「災害対策調査部会」
全国研修@能登半島へ参加



地区別事前復興まちづくり計画(潮江東地区)
第1回ワークショップへ参加



「五台山エリアをみんなで考える会」設立
メンバーの一員として頑張ります!



高知市と高知市旅館ホテル協同組合との懇談会に参加し、意見交換を実施



自由民主党青年局の一員として
鹿児島県寛待攻平和館を訪問



高知県護国神社で行われた戦後80年「慰霊鎮魂祭」に参列



娘と一緒に2025とさこタウンの視察へ



四国若手議員の会
令和7-8年度総会・第1回研修会
@徳島県鳴門市へ参加



ちょうど1周年を迎えた好調のアンテナショップ「とさこ」を視察



高知市町内会連合会女性部会の皆さまと様々な政策について意見交換



自由民主党青年局・女性局主催
総裁選挙公開討論会へ参加

第509回定例会における会派賛成討論(決算)を実施!

【決算の認定議案】

- 令和6年度当初予算は、桑名市長就任後、初の予算編成となり、公約に掲げられた事業がスタートし、桑名市政誕生に期待された市民の皆様への託しに応える形となった。
- 特に、積年の市民の皆様からの要望に応えるため、子ども医療費助成事業の中学生までの拡充や中学進学時祝金支給事業の開始は、市民生活に寄り添い、大変に喜ばれる結果となり、決算の認定に賛成するものである。
- しかしながら、令和6年度決算は、本市監査委員からの審査意見にもある通り、財政構造の弾力性を示す、経常収支比率が99.5%と100%に迫り、財政の硬直化がより一層深刻となっている。
- 収入未済額について一般会計の総額では減少しているものの、市税では5千7百万円余りの増加となっている。税負担の公平性の観点から収入未済額を減少させる取り組みが求められるところである。
- また、将来負担比率、高知市に暮らす未来の人々が背負う借金は、令和6年度決算では150.6%と全国62の中核市の中で、突出してワースト1位であり、これは長年にわたるものである。
- 一般会計の実質収支は5億4千万円余りの黒字となっているが、これは、収支不足を補てんするために、令和元年度以来5年ぶりに約23億7千万円の財政調整基金及び減債基金を取り崩すなどして収支の均衡を図っており、実質的には約18億3千万円の収支不足となっている。
- 令和6年度決算が物語っている通り、戦後の高度経済成長からバブル期といった人口増加に伴う社会構造が完全に終わりを告げ、本市としても地方自治体としてのあり方を大きく転換する必要があると考える。
- 今定例会に提案されている使用料・手数料の改定に係る条例議案や来年度予算編成に向けて取り組んでいる事務事業の見直しは、今後迫り来る大幅な事業削減の始まりに過ぎない。
- どの事業を廃止するかではなく、どの事業を残すかを判断する時期は、財政調整基金の残高や経常一般財源の推移を見ると、想像以上に早いと予想される。私たちは、今後の桑名市長の果敢なる挑戦を期待している。

【公営企業会計決算】

- 本市監査委員から提出の審査意見書によると、下水道事業従事職員の退職給付引当金の未計上及び一般会計による基準外繰出金について指摘がなされている。以下、指摘箇所を引用する。
- 「下水道事業は、平成26年度に地方公営企業法を全部適用し、公営企業会計に移行して以来、公営企業会計基準に基づいて経理を行っている。同基準によれば、職員に退職給付金を支給する場合は、将来の給付費用を当期の費用として、貸借対照表の固定負債に退職給付引当金を計上することとされている。なお、同じく公営企業会計基準を適用している令和6年度の水道事業会計においては、約10億円の退職給付引当金を計上している。
- しかし、下水道事業会計では、平成26年度以降、一度も退職給付引当金を計上しておらず、職員に退職金を支給する場合は、市の一般会計による「基準外繰出金」として退職給付を受け入れており、平成26年度から令和6年度までの11年間の基準外繰出金の合計は、約4億円となっている。
- 退職給付引当金が未計上であることや、汚水事業に係る退職金は、本来、下水道事業会計において負担すべきものであること、一般会計からの基準外繰出金の見直しについては、平成30年度決算審査以降、事前調査において質問し、繰り返し是正を求めてきたところであるが、種々の検討が必要であるなどとして未だに是正されていない。
- したがって、公営企業会計基準に基づき、早急に退職給付引当金を計上するとともに、少なくとも平成26年度以降の下水道事業のうち、汚水事業に係る職員の退職金については、下水道事業会計において負担すべきものと認められることから、関係部局と協議の上、早急に是正されたい。」とある。
- さらに、雨水事業等に係る補てん財源残高についても指摘がなされている。
- 雨水事業等に係る経費については、本来「雨水公費・汚水私費の原則」により、公費負担として一般会計から補填されるものであるため、本来、利益や余剰を生じるものではないにも関わらず、令和2年度末の4億7,747万円から令和6年度末の10億3,444万円とほぼ毎年増加していることに対し、是正を求められている。
- 前述した通り、今定例会に提案されている使用料・手数料の改定に係る条例議案は、多くの市民の皆様基本的に増額負担をお願いするものであり、来年度予算に向けた事務事業見直しにおいても、財源不足から苦渋の思いで、事業の廃止や縮小をするものである。
- そのような状況の中、本市行政内部で、公営企業である、上下水道局が、一般会計から繰出金を受け入れている現状においては、賢明な桑名市長において、関係部局と協議の上、早急に是正を望むものである。

【番外編】自由民主党総裁選「高市早苗」候補を応援！日本列島を強く豊かに。



【番外編】高知県Bリーグチーム設立に向けて同級生である中島選手と活動しています！



プロフィール・市政に関するお問い合わせ

藤川ゆうすけプロフィール

出身地:高知県高知市(城山町に生まれる)、生年月日:平成3年1月25日(34歳)
座右の銘:一隅燈照、趣味:スポーツ全般、格闘技鑑賞、買い物
学歴:上街保育園卒→神田小卒→附属中卒→高知高専卒(2科)
職歴:元 高知県庁職員→元 衆議院議員 尾崎正直秘書
→高知市議会議員(2023年5月2日より1期目任期スタート)
資格:一級土木施工管理技士、防災士、赤十字救急法救急員
役職:自由民主党・中道の会(副政調会長、広報部長)、高知市監査委員
高知県私立幼稚園PTA連合会会長、自民党高知県連青年局部長 等

高知市議会会派控室(問い合わせ先)

☎088-823-9401

✉fujikawa.yusuke2022@gmail.com

〒高知市本町5-1-45 3階自由民主党・中道の会控室

ぜひ下記QRコードから日々の活動をぜひご覧ください！

LINE



公式HP



各SNS



いつでもお気軽にご連絡下さい！

